

児童発達支援 コモド福井
2022年度 自己評価表

1. 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
2. 事業所における自己評価表（児童発達支援）

公表：令和 年 月 日

事業所名 児童発達支援コモド福井 保護者等数 (児童数) 9 回収数 8 割合 89%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8				・本人を見ている、スムーズにすごしているのだと思うので、問題ないと思います。	・集団のスペース、小集団スペース、個別のスペースと構造化し、その時々のお子様の状態に合わせて活動ができるよう努めています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8				・整理整頓されており探しやすい片付けやすいと思う。 ・1対1の対での環境も本人には合っていたり、でも複数での対応もあったり、その日に合わせてくれているのでいいと思う。	・基準の配置を大きく上回る手厚い配置で行っているところ。専門性につきましては、常に職員の研鑽や振り返り、指導や研修の受講を行うことで向上していきよう努めています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(※1)になっているか。	8				・コモドに行く事が嫌がっていないのが、すごしやすく本人にはいいのだと思います。 ・すっきりと整理され、子どもたちにとってすごしやすい環境の見本とさせていただきます。	・特に低年齢児さんにとって、視覚情報に限らず、職員の声掛けの工夫や立ち回りでより構造化されお子様たちにとってわかりやすい、自立しやすい環境となるよう、努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				・畑もあつたり、色々な体験ができる場になっていると思います。 ・手洗い場や靴箱などもすっきりとしていて、使いやすいです。	・毎日の清掃と消毒作業、整理整頓を心がけ、気持ちよく過ごせる場を維持していきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	8				・家族の希望を取り入れて作成いただいている。 ・それはもちろん、きちんとやってくれているので、周りの人からすごく成長(お姉さん)になったね!!と言われる事が増えました。	・時に専門家の意見も交えながら、支援計画の立案に努めています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8				・1つ成長するとまた次の課題が出てくるので、それも相談したりすると支援内容にくみこんでくれて、やってくれていると思っています!!	・療育を担当する職員と共通認識をもち、支援計画の内容はもとより、ガイドラインの内容も踏まえた支援内容(活動内容)となるよう、取り組んでいるところです。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8				・先生達みんなでみてくれて、支えてくれると思っています。	・活動内容立案職員と常に情報を共有し、支援内容の取りこぼしが無いよう日々運営しています。
	8 活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	8				・いろいろな体験をさせていただいている。	・戸外、室内、お出かけ、行事、その中でも季節や地域の特徴を生かし、四季折々活動の設定を行っています。また、スキルの定着も、大きな集団である保育園や幼稚園で役立つものから、就学を見据えたもの、体験学習として畑での野菜栽培を行ったり給食を提供したりすることでの食育、家庭支援につながるような遊びの工夫、保護者との連携に努めています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等と利用児童に関する情報を共有しているか。	7	1			・(保育所等)を利用していないので分からない。 ・今回、幼稚園に訪問してもらって、結果も知らせてもらって、知らない部分がしれてよかったです。 ・ケース会議を行っていただき、保育園や他の事業所とも子の理解に努めていただいていると感じます。	・直接訪問はもちろん、お電話で担任の先生方と情報を共有したり、場合によってはケース会議を行い互いの支援の方向性の統一や把握に努め、お子様ご自身がどの場においても過ごしやすいよう努めています。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					・契約時に必ず確認をしています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	8					・半年に1回の更新時の面談において、必ずご説明差し上げています。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	8				・口頭やノートで様子を伝えていただいている。	・連絡ノートの活用、送迎時の直接報告を欠かさず行い、場合によってはお電話やメールで共有しています。
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					・ノートやメールでいただく相談には、わかりやすい方法でお返事を行い、面談をご希望されるご家庭は面談を、またその際には専門の方に同席のご希望があれば同席していただくなど、ケースに応じて柔軟に対応しています。
	14 保護者会や参観療育等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられているか	7	1			・保護者会や経験者のお話をきく事はとてもためになります!!	・年に1回、10月に保護者会を開き、保護者同士が交流出来たり心理士の方から発達障がいの特徴や対応方法について学んだり、ペアレントメンターの方にお越しいただき発達障がい児を育てたご経験から就学時の不安や悩みに寄り添っていただいたりしているところです。また、3か月に1回程度、サロンを開き保護者同士が集える場の提供も行っています。

	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい。すぐに対応して下さるので助かっている。 ・メールで相談しても直接相談しても迅速に対応してくれています!! ・ケース会議を行ってほしい旨伝えた際も、他機関にすぐに連絡を取っていただき、中心となって行っていただくことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご相談に対しては、必ずその日のうちに対応の見直しをお伝えし、迅速に対応しています。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8				<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートの活用やメールでのやりとり、送迎時の対話により配慮しています。
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・会報等、写真を見て本人も喜んでいたりします。親もこんなかんじてやっているんだ!!と思いがら見えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の通信の発行で活動の様子をお伝え、載せきれない日々の様子はSNSの活用により発信しているところです。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が十分に注意を払い業務にあたっています。
非常時の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの周知があったのか不確かだったため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にマニュアルの提示をし周知しているところです。より印象に残るよう、説明方法など見直していきます。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・娘が行動で表してくれるので、あっ!!訓練したんだな!!とわかる事がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回、午前利用児、午後利用児、終日利用児を対象に訓練を行い、反省と振り返りを全職員が出席する職員会議内で行っています。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・その時々で気持ちの変化はあるようだが、帰宅時はいつも満足している。 ・いつもニコニコして帰ってくるので楽しみにしていると思います。 ・初めの頃は泣いていたが、今ではここに手を振って出かけている。 ・幼稚園に行く事よりも楽しみにしています。土曜日に行けるのも楽しみにしていて、親も安心しておくりだせます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、お子様たちが“楽しい”“やってみよう”“と思える場となるよう、職員が研鑽を積み重ね、活動をj提供することで療育を行っていければと思います。
	22	事業所の支援に満足しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・大体の方が“子供”として接してくれているが、障害児前提の見方であるのかなという言動がある方もいるので、統一した意識で接してもらえると親としても嬉しいです。 ・子供の成長を感じられて支援にとっても満足しています。 ・発達段階に合わせて課題を考えてもらえるので家での遊びの参考にもなっている ・ちょっとした困った事でも相談に乗ってくれるし、不安があったら相談したら、すぐ「今度幼稚園に見学行ってみませんか?」と行動してくれるので、満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様はもちろんのこと、保護者様にとっても、また地域の皆様にとっても満足していただける事業所を目指し、日々努めてまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願ひ致します。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 年 月 日

事業所名 児童発達支援コモド福井

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・集団のスペース、小集団スペース、個別のスペースと構造化し、その時々のお子さんの状態に合わせて活動ができるよう工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		・基準を上回る人員の配置により、低年齢児や個別の対応が必要なお子さんにも満足していただけるような支援を心がけています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		1	・視覚的にわかりやすい空間となるよう、乗所されるお子さんに合わせて工夫しています。	・バリアフリーには対応していません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			・業務終了後の清掃と消毒作業は常に行い、整理整頓に努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			・常勤、非常勤問わず、お子さんの支援にあたる職員全員で常に情報を交換、会議の開催、研修の実施を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・年に1度のこちらのアンケートにより業務改善を行うことはもちろんのこと、日々のやり取りからも常に見直しを行っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・アンケート結果は事業所ホームページにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1	・外部評価は行っていませんが、区の児童発達センターの職員さんの定期訪問や、機関支援先の職員の方々に療育の様子を直接見ていただき、評価やアドバイスをいただいています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・毎月の職員会議では管理者より職員研修の実施、また機関支援先の職員の方より毎年職員研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・アセスメントは全職員からとり、偏った視点で支援にあたらないよう、配慮しています。支援計画を作成する際にはそのアセスメントをもとに立案しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		・全職員が共通のシートで、項目に沿ってお子さんのアセスメントを行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		・ガイドラインの周知、その内容が支援計画と活動に盛り込まれるように工夫しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			・常に児童発達支援管理責任者と療育の活動立案職員が連携をとり、活動内容に計画の支援内容が入るよう取り組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		・担当が主に立てていますが、そこには必ず児童発達支援管理責任者の目を通るようにしています。また、非常勤職員などの意見も常に聞き、職員間全体で活動が決まるような工夫を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・戸外、室内、お出かけ、行事、その中でも季節や地域の特色を生かし、四季折々活動の設定を行っています。また、スキルの定着も、大きな集団である保育園や幼稚園で役立つものから、就学を見据えたもの、体験学習として畑での野菜栽培を行ったり給食を提供したりすることでの食育、家庭支援につながるような遊びの工夫、保護者との連携に努めています。	

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6			・お子さんの発達段階や特性に応じて、個別と集団を適宜組み合わせています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・朝の打ち合わせ時に必ず行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	1	・決まった時間を取っているわけではありませんが、記録書きを行いながら情報共有や次回に向けた方向性の確認を行っています。	・より具体的に行えるよう、機会を作るなど少ない時間を工夫しながら取り組んでいます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・徹底しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・療育終了後にその日の様子がどうだったかをモニタリングし、活動内容が見合っていない場合は改善に努めています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・担当である児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		・家庭児童相談室や相談室、児童発達支援センターの職員さんと必要に応じて柔軟に連携をとっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	※	※	※	※該当無し	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	※	※	※	※該当無し	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1		・併用先の園の職員の方とは連携をとるよう心がけています。現状、移行支援が必要なお子さんはいらっしゃいません。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2		・就学に向けて、必要に応じて行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・定期訪問の受け入れや自主的な機関支援を受け入れし、常に外部からの目が入るよう取り組んでいます。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2		・系列の保育園児さんとは、戸外活動で場の共有をさせていただいています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	2	・コロナ禍では中々機会が無く、出席がほとんどできていません。	・参加していけるよう、機会を作っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		・連絡ノートやメールでのやり取り、送迎時の会話から常に行っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか	2	4		・年に1回、10月に保護者会を開き、保護者同士が交流出来たり心理士の方から発達障がいの特性や対応方法について学んだり、ペアレントメンターの方にお越しいただき発達障がい児を育てたご経験から就学時の不安や悩みに寄り添っていただいたりしているところです。また、3か月に1回程度、サロンを開き保護者同士が集える場の提供も行っています。また、月に1回発行している通信にも、その時々家庭の様子に合わせてお子さんとかかわり方や過ごし方の情報を研修内容や書籍なども参考にお伝えしています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		・契約時に必ず行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	1		・半年に1回の更新面談において、行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・定期的なものであれば、半年に1回の面談時、また適宜連絡ノートやメール、送迎時にご相談をいただいています。	
	35	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・年に1回の保護者会、3か月に1回程度のサロン開催により支援しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		・迅速に対応することはもちろん、ケースによっては専門家にご相談して適切に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		・月に1回の通信の発行で活動の様子をお伝え、載せきれない日々の様子はSNSの活用により発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			・十分注意しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		・個に合わせてわかりやすいツールを用いるなど、工夫しています。実物が入るお子さんには実物提示、視覚教材が入るお子さんにはイラストや写真、文字が入りやすいお子さんには文字で提示するなどしています。また、保護者さんとは内容の食い違いが生じないように、お電話または直接お話しすることを基本としています。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4		・招待することはできていませんが、戸外活動時に顔を見せ挨拶やお話をさせていただいています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2		・マニュアルは契約時に周知、訓練の実施は年に3回行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・年に3回、訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	1		・契約時にご記入いただく書類により確認を行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5	1		・給食、おやつ提供、クッキングの活動がありますので、必ず行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・些細な事でも作成し、職員間で共有、上席への報告も行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		・年に1回、職員会議における職員研修で虐待防止の内容を取り上げるとともに、日々の支援中に気になるところがないか、職員間で率直に意見を述べ合うなど風通しの良い職場を意識しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1		・現状、該当見はいらっしゃいませんが、いらっしゃった場合には取り決め通りに行います。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。